

学 園 彙 報

△昭和四十七年度▽

◎日本印度学仏教学会

八月二十六日・二十七日の両日、第二十三回日本印度学仏教学会学術大会が、名古屋市の同朋大学において開催された。今回は十の部会にわかれ、三百人をこぞ研究発表者で、盛大であった。

本学からの研究発表者並に第九部会の司会は、次の通りであった。

一、「常修慈心」

上 田 本 昌

◎本妙臨師百五十遠忌

日蓮宗史上において稀有の存在として知られている本妙日臨上人の百五十遠忌が、九月十六日おこなわれた。臨師は身延の波木井醍悟園（通称本妙庵）に住し、文政六年九月十七日水戸檀林で遷化された。三十一才。

九月十六日は、午前中、本学において中里日応教授の「本妙臨師について」という記念講演があり、午後からは本山仏殿において、学長望月日雄法主大導師のもと、学園の師徒総出仕して遠忌大法要が営まれた。

◎日本仏教学会

十二月二日・三日の両日、本年度の日本仏教学会学術大会が、大正大学を会場校として開催された。

第一日目の正午より理事会が開かれ、次年度より個人会費一名六百元を、八百円に値上げする件や、来年度の研究共同テーマとして「仏教々団における諸問題」が決められた。

尚、本年は、「仏教と文学・芸術」という共同研究課題で、二十九名の研究発表があった。本学からの代表発表者は、次の通りである。

一、初期仏教芸術とその基盤

高 橋 堯 昭

◎第四回 海外視察派遣教授渡印

海外視察派遣教授として、昭和四十八年二月八日、本学の中里日応教授は、羽田空港を出発し、インドの仏教遺跡を巡り、同月二十八日に無事帰国した。

同窓会大会と

教学大会御案内

身延山開闢七百年を記念し、新学寮の落成を祝して、次の通り同窓会大会と、日蓮宗教学研究発表大会を開催することになりました。久し振りの同窓会大会ですので、お誘い合せて一人でも多くご参加下さい。

同窓生の全員に漏れなく連絡を個別にすることは、困難ですので近隣の同窓諸師によりしく御伝言いただければ幸であります。

◎ 同窓会全国大会

十月十八日（木）午後一時より開会。夕刻・懇親会の予定。

大学で正午より受付開始、一時より新学寮落成式、二時より同窓会大会。宿泊は各自随意。

◎ 日蓮宗教学研究発表大会

十月十九日二十日の両日
午前九時より。十九日夜懇親会、二十日は正午閉会の予定。聴講自由。

— お 願 い —

◎本誌は「会員制」となっております。会費は年額千円で
す。発行のつど同封の振替用紙をご利用の上、ご送金願
います。

◎お知り合いの方々の中で、まだ入会されていない方には
ぜひ御入会下さるようお勧め下さい。

◎会員諸賢の御研鑽の成果を御投稿下さいますようお願い
しております。（取捨は本学会に御一任下さい。）